

景観講演会かわら版

H26.9.26

平成26年度 辰野町景観講演会開催

平成26年9月24日、辰野町民会館において平成26年度辰野町景観講演会が開催されました。

東京大学アジア生物資源環境研究センター長の堀 繁教授を講師としてお招きし、景観についてご教示いただきました。



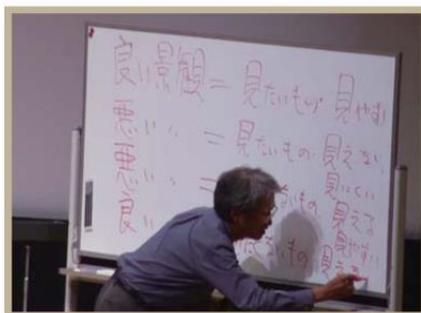
景観とは見ること（もの自体が景観ではない）

● 良い景観とは

見たいものが見やすいこと
(見たくないものが見えないこと)

● 悪い景観とは

見たいものが見えない
(見たくないものが見える、見やすい)



プログラム

開会

あいさつ 辰野町長 加島 範久
講師紹介 辰野町女性団体連絡協議会
会長 磯野 美鈴

講演「景観を使った活性化のまちづくり」
第一回 景観とは何か、良い景観とはどういうことか

質疑応答

お礼のこトバ 辰野町副町長 武居 保男
閉会

景観が成立するのに不可欠なものは 見る場所（視点）

(堀先生) 例えば、見た目の大きさが程良いものとは、
見込み角が10度から20度のものをいいます。

<見込み角10度と20度の簡単な測り方>

- ・見込み角10度
片方の腕を目線と同じ高さになるように突き出し、手を握り締めて「グー」をつくります。その「グー」の先端を見る角度が10度。
- ・見込み角20度
同様に腕を突き出し、手を開いて「パー」をつくります。その指先を見る角度が20度。

**視点は見たいものが見やすい場所、
すなわち「グー」から「パー」に
入る場所につくるのが重要です。**

堀先生には、このようなことについて多くの写真を使いながらご講演をいただきました。

少し？何となく？景観について分かったような気がします。次回「第2回辰野町景観講演会」は10月14日(火)です。堀先生、楽しみにしています。

